

2024年12月期 第1四半期決算



補足説明資料

株式会社テクノフレックス
証券コード:3449

- ✓ 本資料に記載された将来の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき作成されたものであり、将来発生する様々な要因により、異なる結果となる可能性を含みます。
- ✓ 2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用しております。
- ✓ 2021年12月期以前の実績は「収益認識に関する会計基準」を適用する前の数値を記載しております。
- ✓ 2022年4月1日付で、連結対象の完全子会社「株式会社アクアリザーブ」と合併いたしました。これに伴い、2022年12月期 第2四半期から、「防災用貯給水タンク」の業績を「防災・工事事業」から「継手事業」にセグメント変更しております。そのため本資料では、セグメント変更後の数値を、参考情報として記載しております。

1. 2024年12月期 第1四半期決算概要

2. 2024年12月期 業績予想

3. 新千葉工場の竣工

(補足資料)
テクノフレックスの概要



▲ 4月に竣工した新千葉工場(第1工場)

1. 2024年12月期 第1四半期決算概要

2024年12月期 第1四半期 連結業績 1 前年同期比・計画比



◆ 連結業績(前年同期比・計画比)

単位:百万円

	連結業績		前年同期比 (伸長率)		計画比(進捗率)			
	2023_1Q	2024_1Q			2Q累計		通期	
連結売上高	5,142	4,980	▲161	▲3.1%	10,900	45.7%	23,000	21.7%
連結営業利益	509	486	▲22	▲4.4%	950	51.3%	2,300	21.2%
親会社株主に帰属する 当期/四半期純利益	325	289	▲35	▲10.9%	600	48.3%	1,500	19.3%

● 連結売上高

- ✓ 中国市場低迷の影響を受け、自動車・ロボット事業のロボット分野で、前期下期から売上が減少しております。前期1Qが、市況悪化前の売上が好調な期であったため、前年同期比は大幅な減収となり、連結売上高の主な減収要因となりました。

● 連結営業利益

- ✓ 主力の継手事業(当期1Qのセグメント利益構成比53%)が、前年同期比で減収となったことと、前期に低下した営業利益率が未だ回復途中であることから、前年同期比で減益となりました。

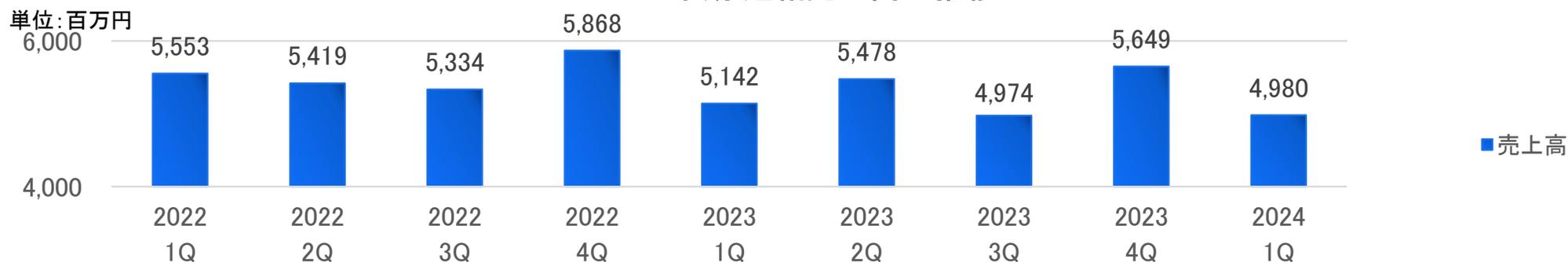
● 親会社株主に帰属する四半期純利益

- ✓ 連結営業利益の減益と、為替影響(円安による為替差損の拡大)により、親会社株主に帰属する四半期純利益が減益となりました。

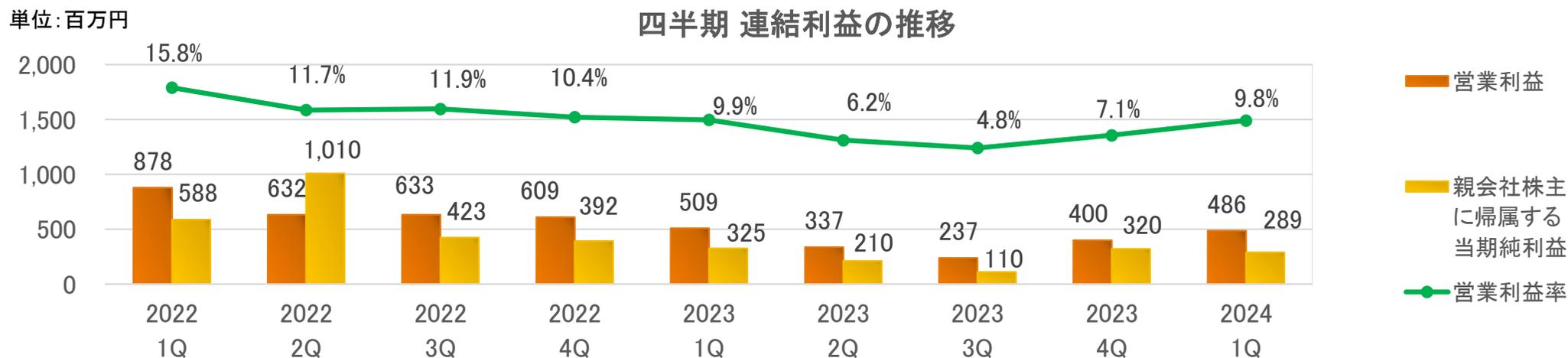
2024年12月期 第1四半期 連結業績 2 四半期業績の推移



四半期 連結売上高の推移



四半期 連結利益の推移

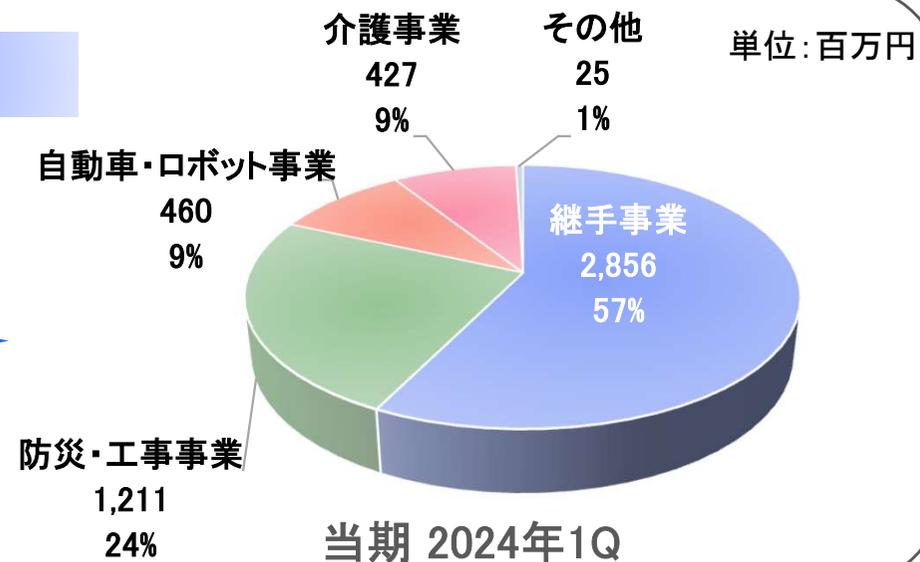
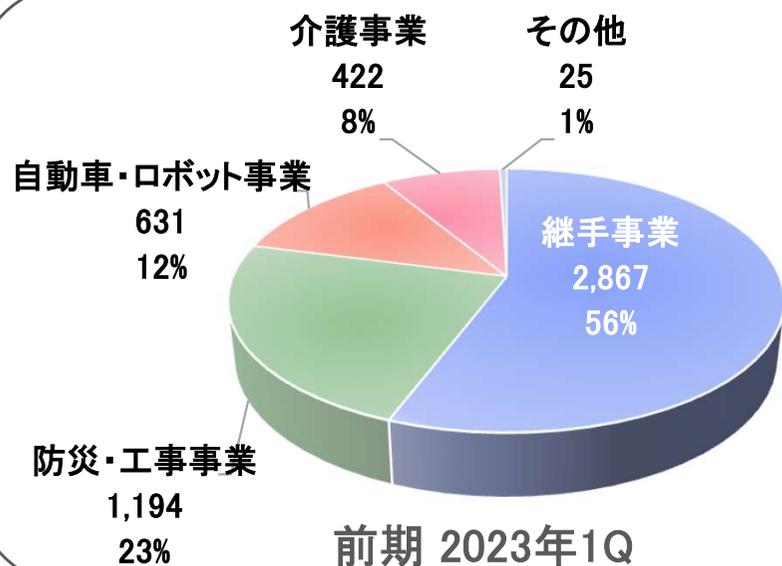


- 四半期業績は、半導体関連の設備工事(継手事業 真空機器)や消防設備工事(防災・工事事業)といった工事業が売上を計上するタイミングによって、四半期業績が大きく変動します。
特に、工事業は案件により利益率が大きく異なるため、四半期の連結営業利益が大きく影響を受けます。
- 2022年2Qの親会社株主に帰属する四半期純利益が大きいのは、連結子会社であった(株)アクアリザーブの吸収合併に伴う税効果によるものです。
- 連結営業利益率の低下は、一旦落ち着いた様子ではありますが、為替と物価の動向が依然として先行き不透明でありますので、引き続き利益の確保に注力してまいります。

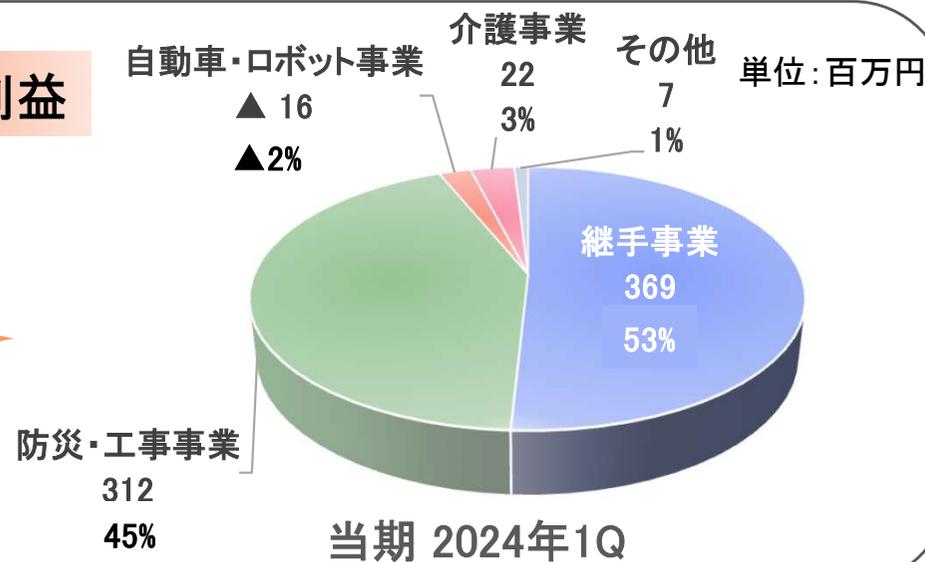
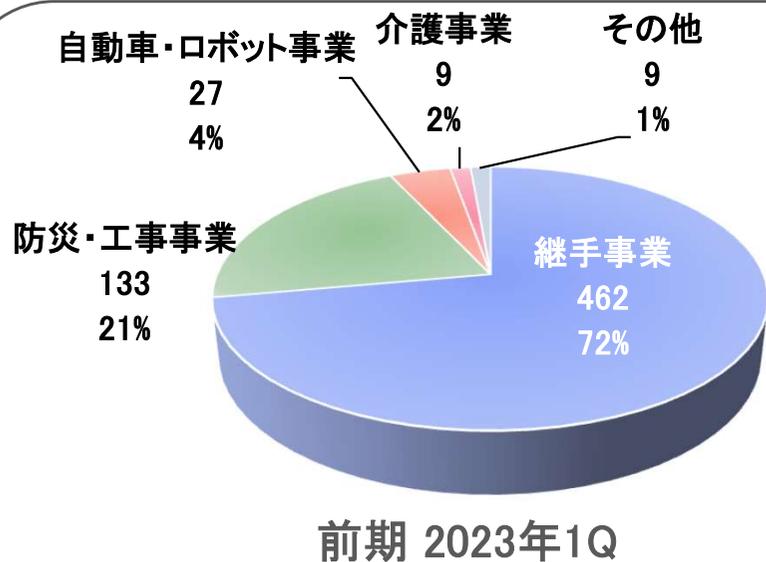
2024年12月期 第1四半期 セグメント構成比



売上高



セグメント利益

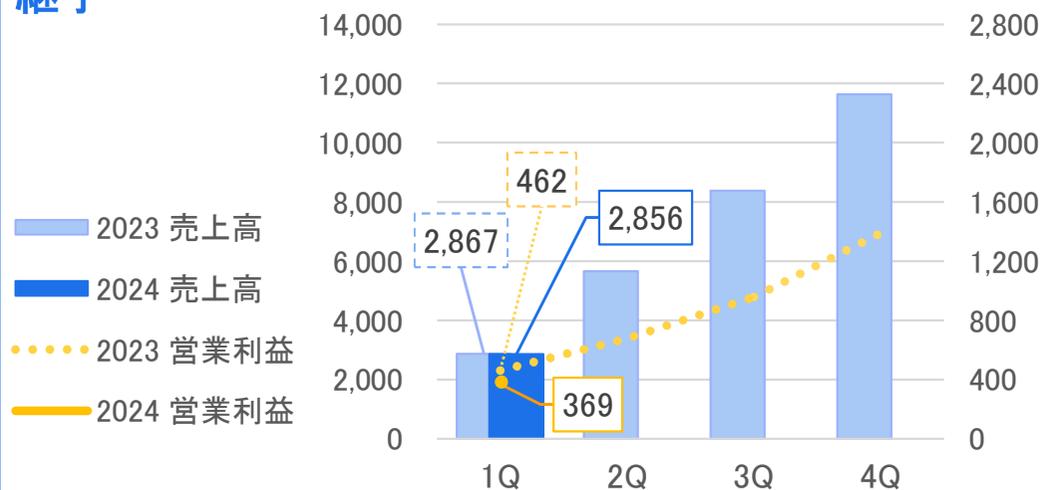


2024年12月期 第1四半期 セグメント業績 前期比(累計)

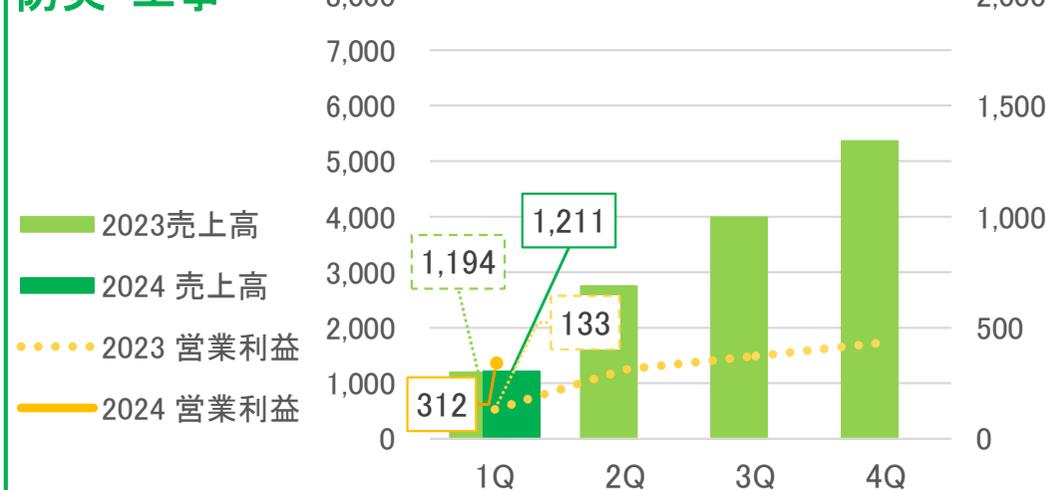


単位: 百万円

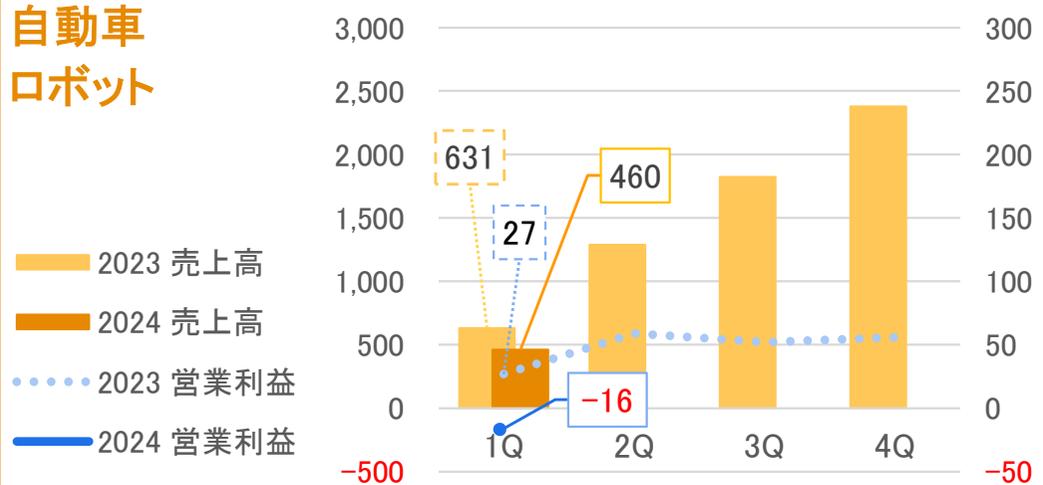
継手



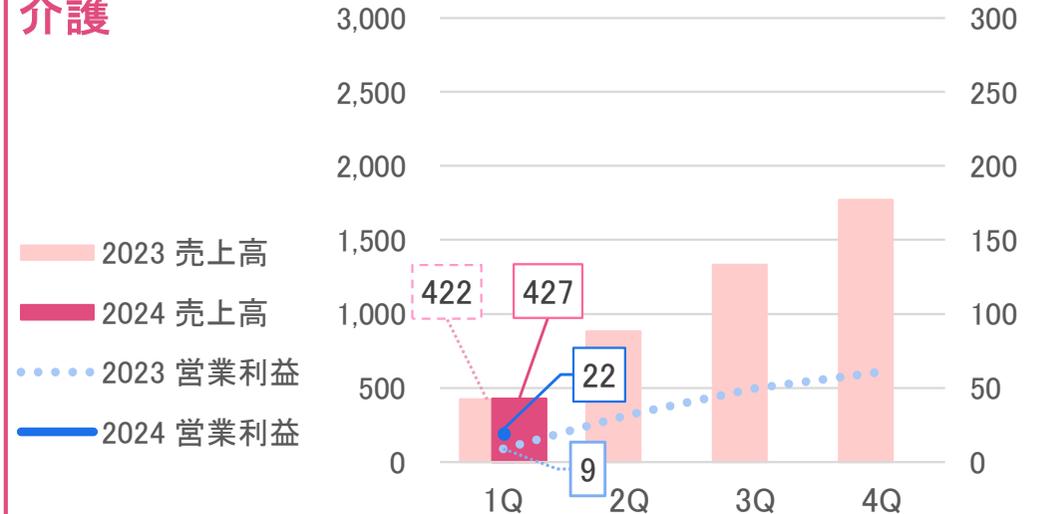
防災・工事



自動車 ロボット



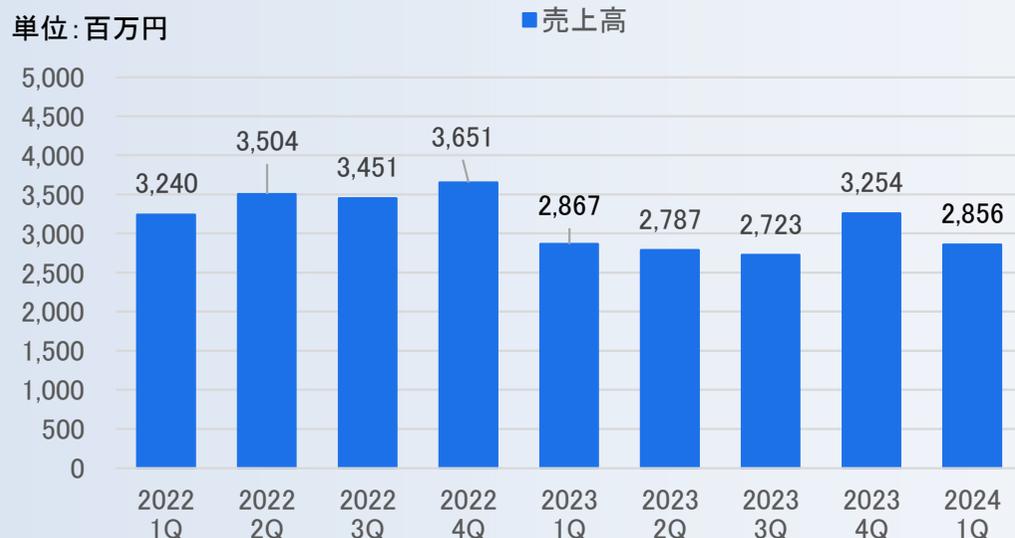
介護



- 売上高は、自動車・ロボット事業が大幅な減収となり、他の3事業は概ね前期並みでした。
- 営業利益は、防災・工事事業が高利益率案件により大幅増益、自動車・ロボット事業がロボット市場の低迷から16百万円損失計上しました。⁷

◆ 継手事業(1)

売上高の推移



営業利益の推移



● 前期比 : 売上高▲10百万円(▲0.4%)、営業利益▲92百万円(▲20.1%)

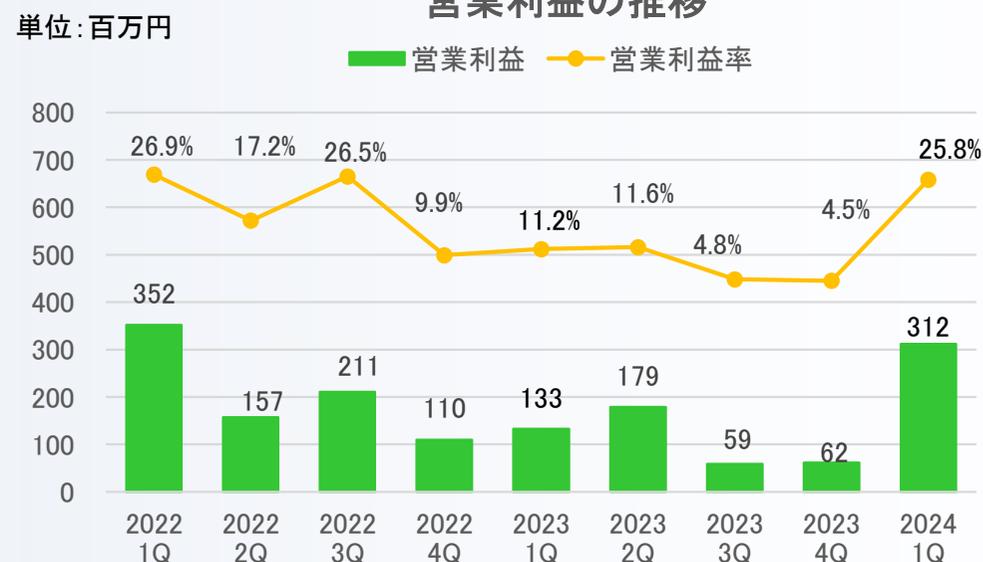
- 売上高は前年同期並み(微減)でしたが、円安により海外からの仕入金額高騰が続いていること、原価上昇分の顧客への価格転嫁に時間が掛かっていること等から、営業利益が減少しました。
- 半導体関連は、市況の低迷が続く中、個別の案件では回復の兆候が見られるものもあり、真空機器の売上高は、前年同期並み(微増)でありました。半導体関連市場の全体的な回復は、下期以降となる見込です。

◆ 防災・工事事業

売上高の推移



営業利益の推移



- 前期比 : 売上高+16百万円(+1.4%)、営業利益+179百万円(+134.0%)

➤ 消防設備工事

当期1Qは、高利益率の工事案件が完成したため、大幅な増益となりましたが、売上高は前年同期並み(微増)でした。原価高騰による厳しい状況は続いており、原価上昇分の価格転嫁や不採算案件の発生防止等、利益確保に努めております。

◆ 自動車・ロボット事業

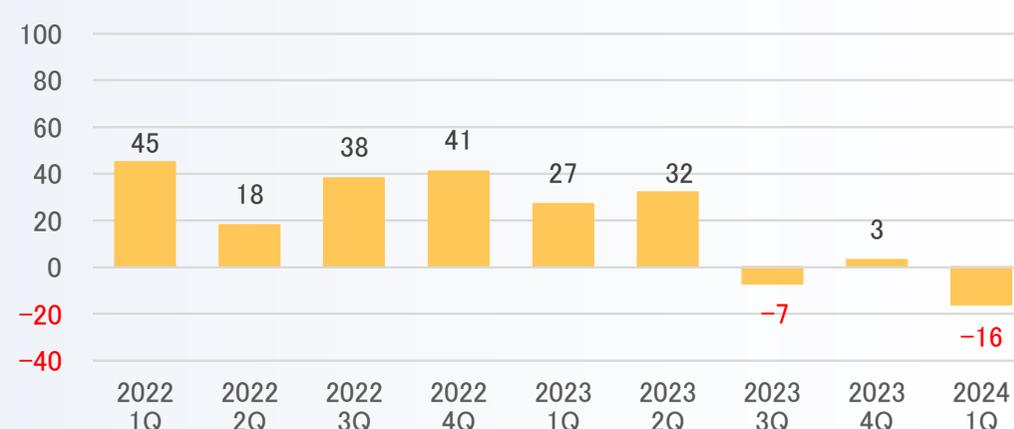
売上高の推移

単位:百万円



営業利益の推移

単位:百万円



- 前期比 : 売上高▲171百万円(▲27.2%)、営業損失16百万円(前年同期は営業利益27百万円)
 - 中国市場低迷の影響を受け、前期下期から産業用ロボット向け金属部品の売上が大幅に減少しております。
 - ロボット向けの製品は利益率が高いため、減収による利益減少影響が大きく、当期1Qは、16百万円の営業損失を計上いたしました。
 - 前年同期比では、前期1Qが市況の悪化する前であったため、大幅に減収減益となりました。

◆ 介護事業

売上高の推移

単位:百万円



営業利益の推移

単位:百万円



● 前期比 : 売上高+5百万円(+1.2%)、営業利益+13百万円(141.8%)

- 売上高は、前年同期並み(微増)でありました。
- 営業利益は、事業買収の費用を前期1Qに計上しており、比較対象である前年同期の営業利益が低いことから、大幅な増益となりましたが、原価高騰による負担は継続しており、先行き不透明な状況であります。

2. 2024年12月期 業績予想

2024年12月期連結業績予想 SUMMARY



◆ 連結業績予想

単位:百万円

	2Q累計		通期	
	2023年 業績	2024年 予想	2023年 業績	2024年 予想
連結売上高	10,620	10,900 (+2.6%)	21,242	23,000 (+8.3%)
連結営業利益	846	950 (+12.3%)	1,482	2,300 (+55.1%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	535	600 (+12.0%)	966	1,500 (+55.2%)

● 連結売上高

- 前期に落ち込んだ真空機器(継手事業)の売上が、下期から回復する見込みです。

● 連結営業利益

- 低迷していた真空機器の売上高回復による、営業利益の増加を見込んでおります。
- 原価上昇分の価格転嫁が進み、利益率が回復する見込みです。
- 前期に複数件あった消防設備工事における不採算案件の発生を防止し、利益確保に努めます。

● 親会社株主に帰属する当期純利益

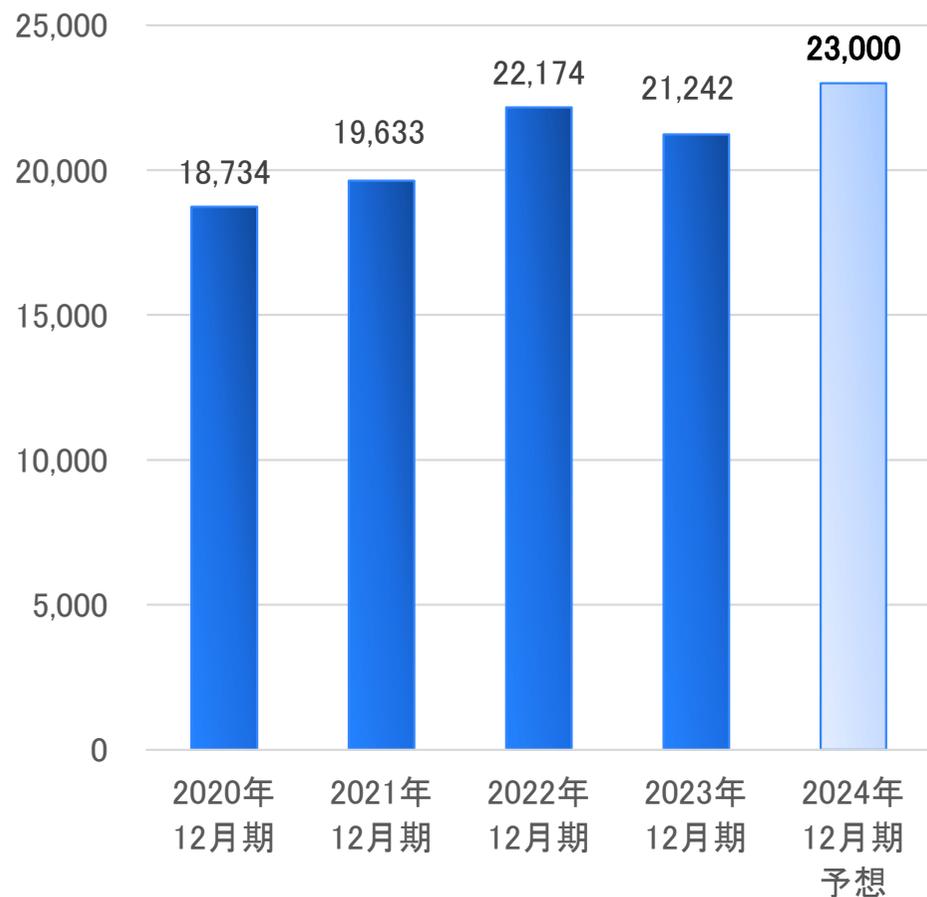
- 営業利益の回復による、親会社株主に帰属する当期純利益の回復を見込んでいます。

2024年12月期連結業績予想(直近4年間の実績と比較)



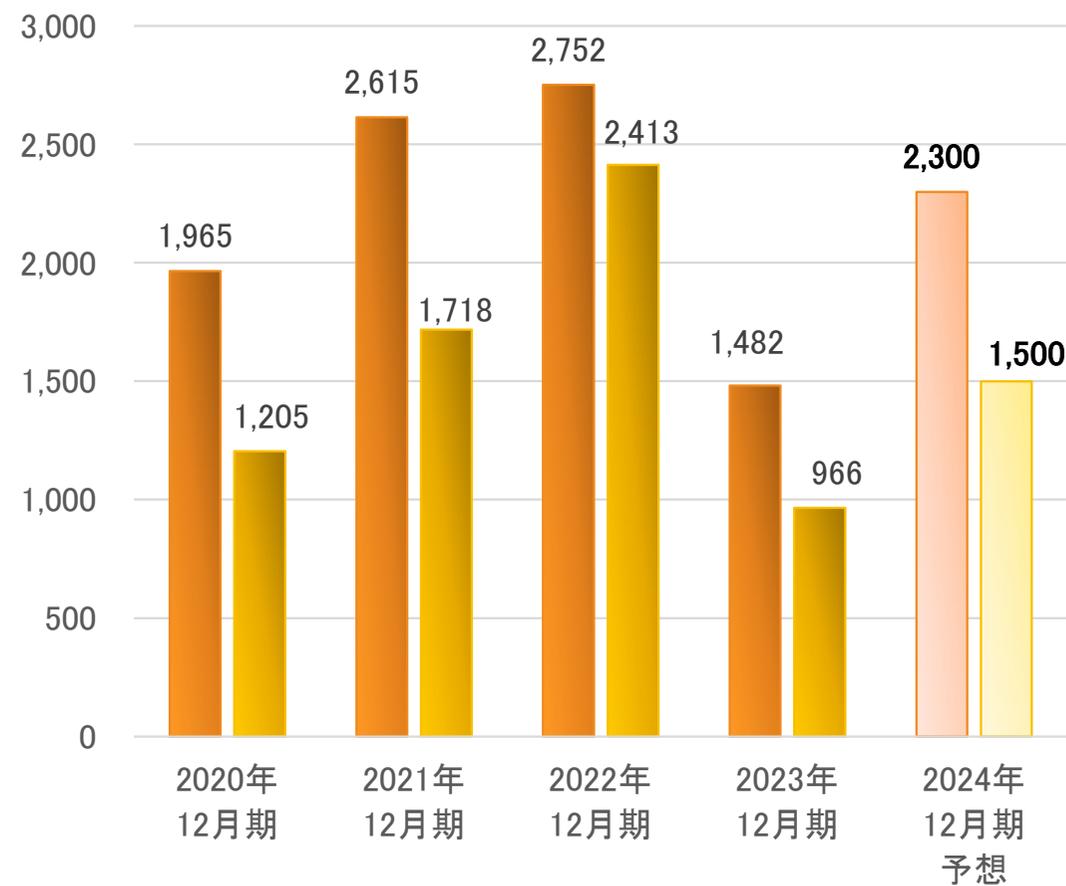
単位:百万円

連結売上高



単位:百万円

連結営業利益 親会社株主に帰属する当期純利益



◆ 継手事業

- フレキシブル継手と伸縮管継手は、堅調な推移を見込んでおります。
- 真空機器は、半導体関連の一部顧客で回復の兆候が見られるものの、半導体関連市場全体の回復は、下期以降となる見込みです。北海道で建設中の半導体工場では、来期から製造装置や真空配管の設置工事が開始される予定であり、それに関連して、当期の下期から受注が増加するものと思われれます。

◆ 防災・工事事業

- 当期2Qから4Qに掛けて、北海道で建設中の半導体工場で、消防設備工事が計画されています。
- 前期は、売上高が増加したものの、不採算案件が減益要因となったことを踏まえ、堅実な受注判断と工程管理の徹底により、利益率向上を図ります。

◆ 自動車・ロボット事業

- 自動車分野は、堅調に推移する見込みです。
- ロボット分野は、中国市場の低迷による影響が長期化しており、回復には時間が掛かるものと思われれます。

◆ 介護事業

- 介護用品のレンタル市場は、原価高騰による厳しい環境が継続するものと思われれます。

3. 新千葉工場の竣工



▲ 写真中央が新千葉工場(第1工場)

新千葉工場の竣工



- ◆ 2024年4月、新千葉工場(第1工場)の建物が竣工しました。
- ◆ 複数の低層工場(1~3階建て)が密集していた旧工場を建替え、柱の少ない大空間の5階建て新工場に生まれ変わりました。
- ◆ 海外工場に依存していた部品や半製品の製造を新千葉工場へ移管し、輸送コストの削減と納期短縮を図ります。
- ◆ 新工場には最新の製造設備を導入するとともに、隣接する第2工場で行ってきたフレキシブル継手の製造を新工場へ移設し、部品の製造から完成品の出荷までを新工場へ集約することで、効率化を図ります。
- ◆ 今後、製造設備の設置等の内部工事を順次実施し、2024年秋から段階的に操業を開始する予定です。

■ 新千葉工場の概要

- 工期 : 2022年9月着工~2024年4月竣工
- 面積・階層 : 延床面積約17,000 m²(約5,000 坪)
地上5階建(一部中2階)
- 千葉工場全体の延床面積 : (工事前)約15,000m²から
(工事後)約26,000m²に拡張
- 設計・施工 : (設計)株式会社JFE設計
(施工)大成建設株式会社



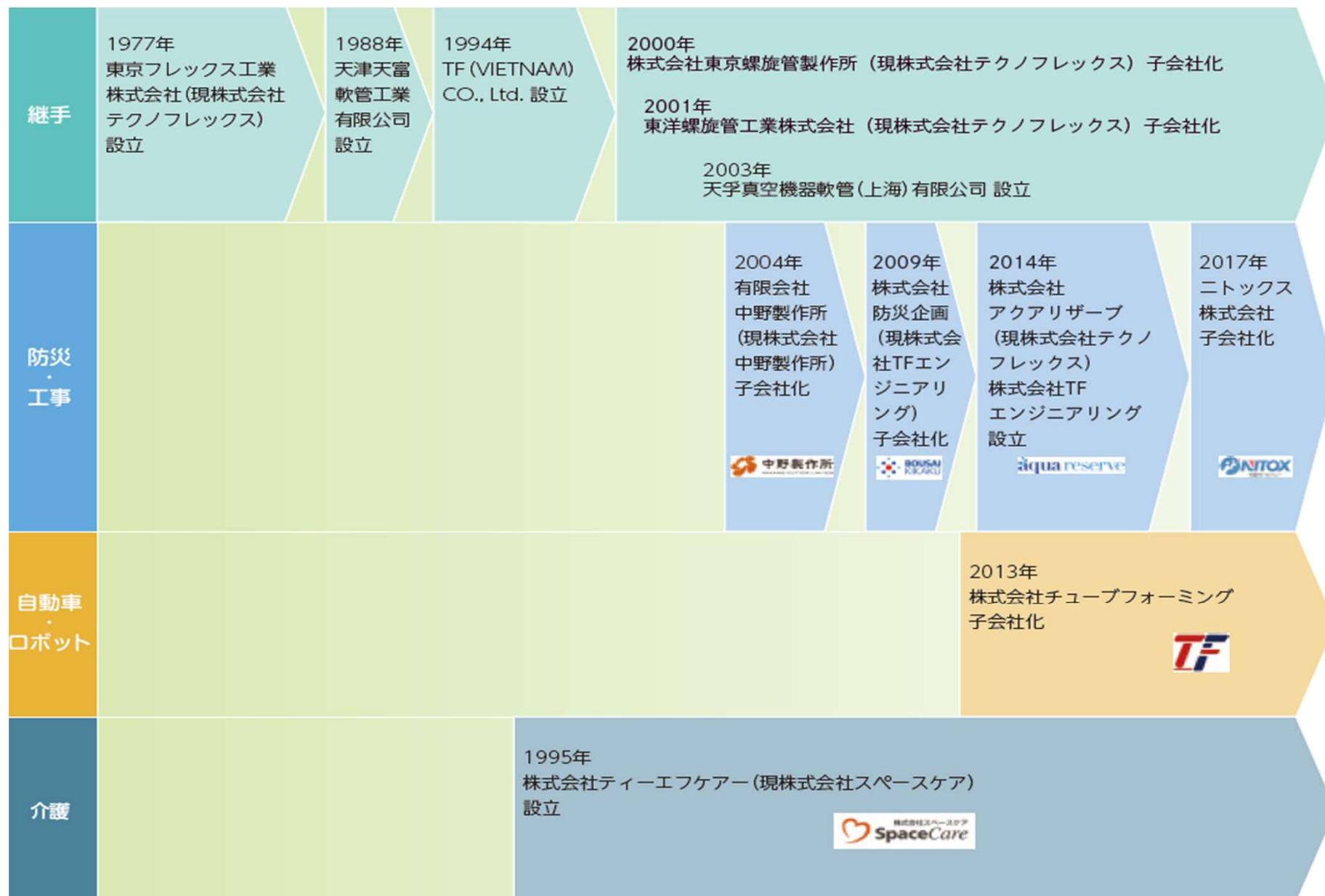
▲ 最新の技術を採用し、柱の少ない大空間が誕生しました。



▲ 新工場(第1工場)の全景。

(補足資料) テクノフレックスの概要

会社名	株式会社テクノフレックス
代表者名	代表取締役社長 前島 岳
本社所在地	東京都台東区蔵前一丁目5番1号
資本金	10億円(2023年12月31日現在)
設立日	1977年8月
決算期	12月決算
事業内容	継手事業 / 防災・工事事業 / 自動車・ロボット事業 / 介護事業
従業員数	単体:368名(2023年12月31日現在) 連結:988名 ※臨時雇用者を含む



皆様の生活とのかかわり



◆ テクノフレックスグループは、「生活インフラ」「産業・先端技術」「防災」「介護」の4つの分野で、皆様の暮らす社会を支える事業を展開しています。

The infographic is divided into four colored quadrants around a central white circle containing the text "TECHNOFLEX GROUP".

- Top-Left (Light Blue):** Labeled "生活インフラ" (Life Infrastructure). It includes "水道・ガス" (Water/Gas) with an image of a truck installing an "SDFフレキ" (SDF flexible pipe) into a main water pipe, and "エネルギー" (Energy) with an image of an "H2 Station" hydrogen station.
- Top-Right (Orange):** Labeled "産業・先端技術" (Industry/Advanced Technology). It includes "半導体" (Semiconductors) with an image of a "半導体工場" (Semiconductor factory) and "医療機器" (Medical Equipment) with an image of an "MRI装置" (MRI device). It also features "自動・無人化" (Automation/Unmanned) with an image of "産業用ロボット" (Industrial robots).
- Bottom-Left (Purple):** Labeled "介護" (Care). It includes "リフォーム" (Renovation) with an image of a hand holding a "トイレに後付けされた手すり" (Handrail installed on a toilet) and "販売・レンタル" (Sales/Rental) with an image of a "介護用ベッド・補助具" (Nursing bed/assistive device). It also features "リネン" (Linens) with an image of a person handling "いつも清潔な介護用品" (Always clean care products).
- Bottom-Right (Green):** Labeled "防災" (Disaster). It includes "地震" (Earthquake) with an image of "インテリジェントビル" (Intelligent building), "風水害" (Typhoon/Flood) with an image of hands being washed under a faucet during a "断水時にマルチアクアから取水" (Water intake from Multi-Aqua during water outage), and "火災" (Fire) with an image of a "スプリンクラー消火設備" (Sprinkler fire-fighting equipment).

※ 上記の分野は、当社グループの事業を、皆様の生活に係る4つの分野に整理したものであり、当社の会計上の事業セグメントとは異なります。

当社グループの4つの事業セグメント



① 継手事業



③ 自動車・ロボット事業



② 防災・工事事業



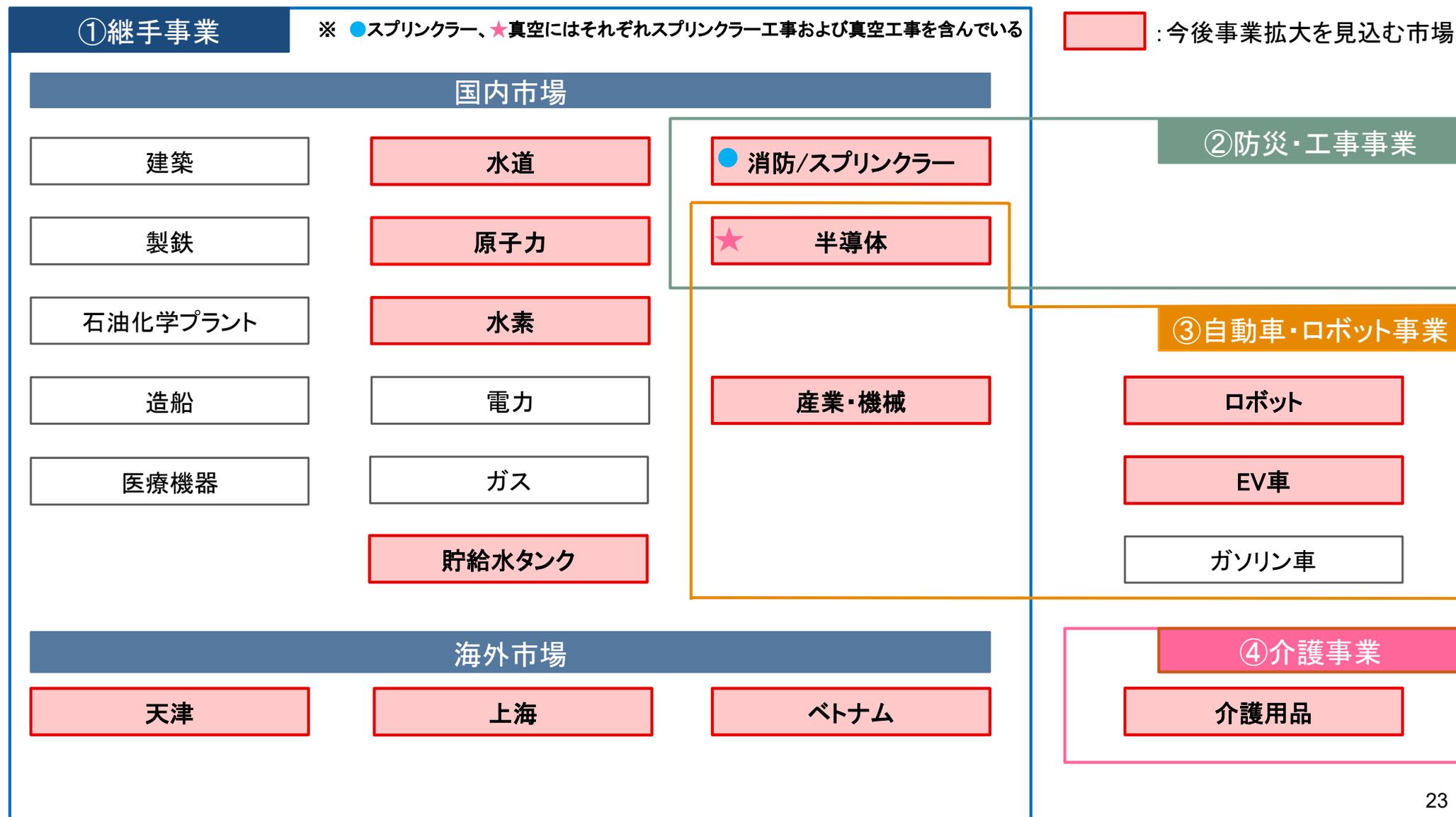
④ 介護事業



マーケットと 4つの事業セグメント



- 当グループがターゲットとするマーケットは多岐にわたり、特に事業拡大を見込む市場としては消防/スプリンクラー、水道、半導体、原子力、水素、貯水タンク、EV車、ロボット、産業・機械、商品販売(介護)、海外市場が挙げられます



- ◆ 管継手 : 管と管のつなぎ目
 - 固定式 : T字型・L字型など固定形状の継手
 - 可撓式 : 継手自体が曲がったり伸び縮みしたりできる継手

テクノフレックス

◆ テクノフレックスの管継手は大きく3種類

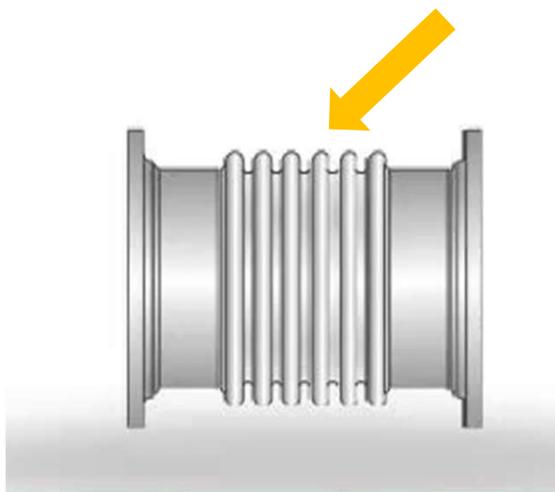
【フレキシブル継手】

全体が曲がる継手



【伸縮管継手】

波状の部分で伸縮が可能



【真空機器】

真空配管用の継手・金属部品



事業セグメント 1 継手事業 ①フレキシブル継手

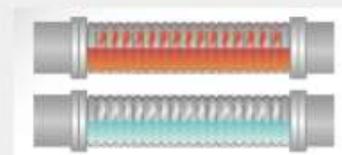
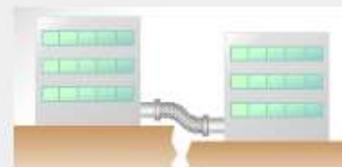


- ◆配管作業を容易に ▶ 作業効率向上。経験の浅い作業員でも設置でき、人手不足の解消にも貢献。
- ◆耐震性 ▶ 地震への対策から、耐震性の需要が高まる。

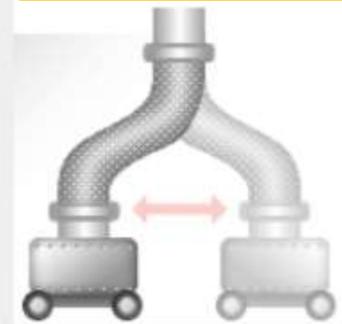
町のあちこちに
テクノフレックス



変位吸収



機械的な動作に
対応



振動吸収



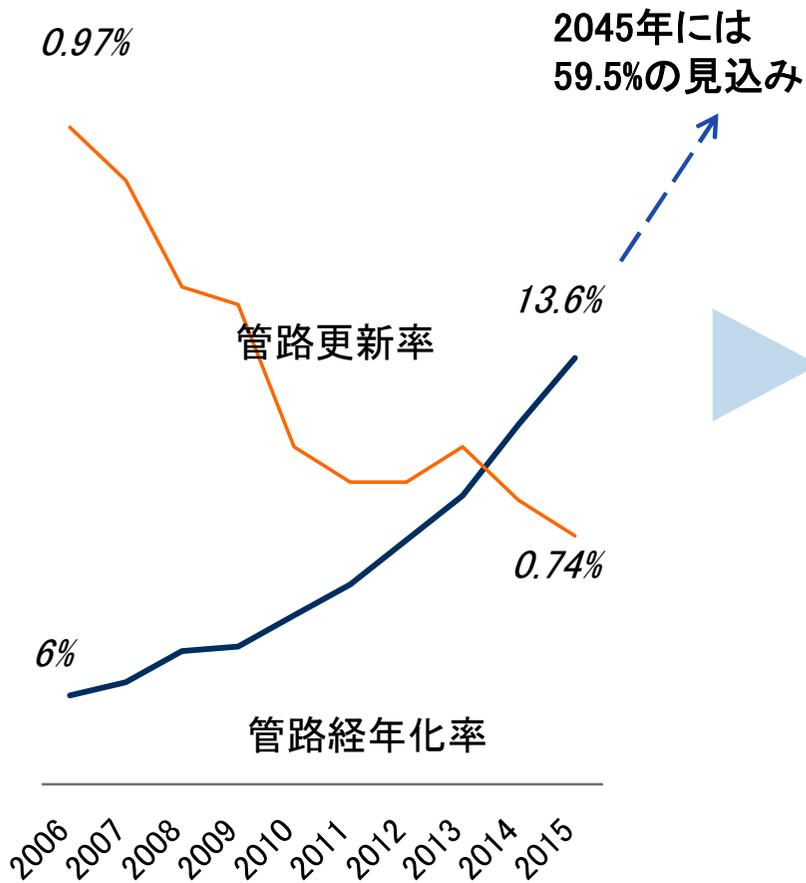
作業効率



大地震で曲がっても
オイル漏れの無い
フレキシブル継手の例



水道の老朽化は進む一方で、
管路更新が進んでいない。



SDF工法

- 掘り起こし困難な場所に最適。
- 既存の水道管の中を通して補修。



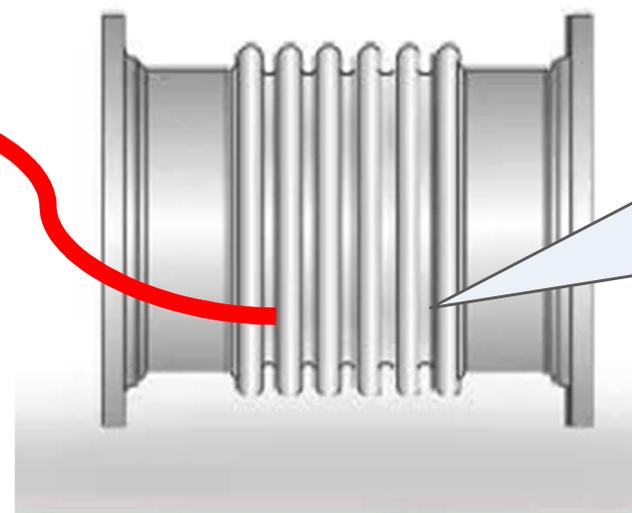
SDF工法向けにフレキ管を供給

第1回インフラメンテナンス大賞
(厚生労働大臣賞)

出所: 最近の水道行政の動向について(厚生労働省)

- ◆ 地震や熱膨張など、様々な負荷から設備機器と配管を守ります。
- ◆ 耐震性に優れ、配管の破損や脱落による流体漏洩等の2次災害を防止。
- ◆ 設置場所

エネルギー関連	石油・化学プラント、電力プラント、LNGプラント、LNG船、水素ステーション、水素運搬船など。
ライフライン	ガス・水道など。
大規模産業設備	製鉄プラントなど。



波状の部分が、伸縮します。角度を付けることもできます。

- ◆ 真空配管とは、微細なゴミも嫌う設備などに設置されるクリーンな配管のこと。
 - 真空機器の製品は、厳しい検査に合格した、気密性に優れた製品。
 - ステンレス製の継手は、組織を均一化するため、熱処理を施す。
- ◆ 製品供給に加え、配管の設置工事・プレハブ加工も一括で受けられるのが、当社の強み。
- ◆ 使用用途

半導体製造装置、FPD製造装置、真空ポンプ、医療機器、医薬品・食品工場などの機械装置

装置間の真空配管

真空ポンプの配管

温度調節用の配管(チラーホース、クライオホース)



● 当期の状況

- ◆ 世界的な半導体需要の高まりから、半導体製造メーカーによる工場の新設や製造ラインの増設が活況。
- ◆ 半導体の製造(特に前工程)にはクリーンルーム等の真空空間が必要なため、真空ポンプと真空配管を設置。
 - 真空機器の需要が拡大。
- ◆ 当社の真空機器は、半導体・FPD等の製造装置用、真空ポンプ用、装置間真空配管用の3つの用途で、使用。
- ◆ 真空配管の設置工事と工場でのプレハブ加工も請け負っており、製品と工事の両面でサポート。

● 成長イメージ

- ◆ 真空配管は、半導体のみならず、様々な分野の工場で需要が増加。
- ◆ 高度な医療用の診断装置に設置。
- ◆ チラーホース、クライオホースのマーケットシェア獲得。
 - ※ 低温・極低温の空間をつくるための冷却用長尺ホース。近年は加温でも使用。半導体工場等では、高真空・極高真空の空間をつくるためのクライオポンプとクリーンルームとをつなぐ配管に設置。

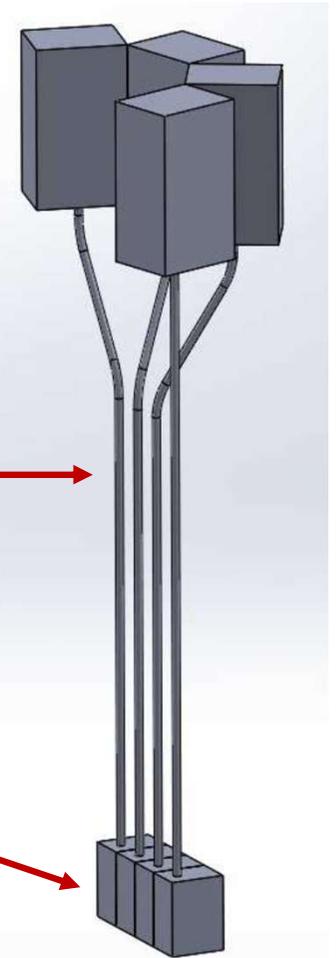
真空機器の用途

チラーホース
クライオホース
高真空化・極高真空化

半導体・FPD等の
製造装置に設置
装置メーカーへ出荷

装置間の
真空配管に設置
工場の真空配管設置現場へ出荷

真空ポンプに設置
ポンプメーカーへ出荷



防災用貯給水タンク「マルチアクア」

- マルチアクアは、平常時には、給水配管（水道管）の一部として機能しながら貯水を行い、災害等による断水時には、直前まで貯水されたタンク内の水道水を供給する、貯給水タンクです。
- 水道水を使うたびに、マルチアクア内に新しい水道水が貯水されます。そのため、備蓄水のように、消費期限の管理や交換を行う手間が生じません。
- 災害発生時には、飲用の他、傷口の洗浄等にも水が必要です。傷口の洗浄には水道水が適しているとされており、マルチアクアは、飲用にも傷口の洗浄にもご活用いただけます。
- 戸建住宅用には、設置場所に困らない、床下収納の開口部から床下に設置できる製品もございます。
- ペットボトル等の樹脂製容器の使用を削減する効果がございます。サステナブルな社会の実現に、貢献して参ります。



戸建住宅用には、床下収納の開口部から床下に設置できる製品もございます。

タンク内の水が循環して常に新しい水を貯水します。

企業のBCP向け製品「マルチアクアC」。



Multi Aqua C

マルチアクア

3つの“守る”



- ◆ 配管を軸に、川下戦略による防災・工事事業への参入。
- ◆ 防災・工事事業には、2つの事業。

消火設備の配管工事 配管のプレハブ加工

- スプリンクラー等の消火設備の配管工事
- 工場で行う配管のプレハブ加工



自動切断機

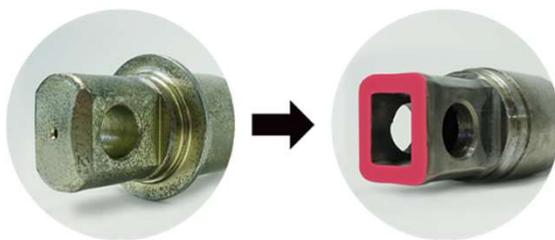
水道管及び電柱の 切断装置

- 自走しながら配管や電柱を切断。
- 東京都が推奨する無電柱化に貢献。



自動車・ロボット事業

- 金属塑性技術を生かした、金属部品の軽量化、材料費の低減及び強度増。
- 多くの自動車メーカーで使用。
- ロボット分野の需要拡大。
- 半導体工場等の機械装置用部品にも採用。



従来製品

パイプ化製品

介護事業

- ケアプランに沿った福祉用具レンタル
- 福祉用具の販売
- 介護用マットレスの洗浄
- 住宅バリアフリー化工事
- 介護サービスの創造



テクノフレックスグループの将来を見据える上で重要なキーワード



■ 当グループを取り巻く環境に大きなインパクトを与える重要キーワードを5つピックアップしました

重要キーワード	市場にもたらす変化	該当セグメント
1 気候変動等による災害増加に対する 防災意識の高まり (国土強靱化計画)	✓ 防災設備需要の拡大 ✓ 国民の防災意識の高まり	✓ 継手事業 ✓ 防災・工事事業
2 戦後日本が築いてきた 社会インフラ老朽化対応 (水道の老朽化対応、都市再開発)	✓ 水道整備関連の予算拡充に伴う取替需要増加 ✓ 都市再開発に伴うビル等の建替需要増加	✓ 継手事業 ✓ 防災・工事事業
3 AIと自動化 (5G商用化、ロボティクス)	✓ 半導体市場の拡大 ✓ ロボット市場の拡大	✓ 継手事業 ✓ 自動車・ロボット事業
4 クリーンエネルギー (脱炭素化、脱ガソリン、脱エンジン)	✓ エンジン搭載車の減少、EV化 ✓ 化石燃料以外の燃料(水素等)の輸送・貯蔵 ✓ クリーンエネルギー設備増設	✓ 継手事業 ✓ 自動車・ロボット事業
5 ヘルスケア (地域包括ケアシステム推進)	✓ 在宅介護が支援されることによる、各家庭向けの福祉用具需要の高まり	✓ 介護事業 ✓ 自動車・ロボット事業

国内マーケットの動向サマリ(1/3)



- 産業・機械と電力は成長、製鉄、石油化学プラント、ガスは低迷を予想しています
- 建築は、中長期的には需要拡大が見込まれるものの、働き手離職等のリスクがあり、不安要素ありと評価しています

マーケット		今後5年間の動向
継手	建築	✓ 中長期的には都市再開発や防災対策に伴う需要を見込めるものの、働き手の大量離職等の不安要素があり下振れのリスクあり
	製鉄	✓ 主要販売先である造船・航空機について今後低迷が予想されることや、EV化により鉄の必要量が減少する可能性があり、今後の見通しは厳しい
	石油化学プラント	✓ 石油化学製品の供給過多やプラスチックに対する規制強化等により、石油化学業界にて積極的な設備投資を期待することは難しいため、低迷傾向が継続するリスクあり
	産業・機械	✓ 半導体等の成長産業での設備投資が見込まれる。 ✓ メインユーザー層である中堅・中小企業の設備投資は冷え込む予想。
	ガス	✓ 人口減少や温暖化対策等による需要減少リスクあり
	電力	✓ 政府の推進する再生エネルギー導入拡大に向け、送電インフラ整備に伴う設備投資需要が見込まれることから、今後の見通しは良好

国内マーケットの動向サマリ(2/3)



- 消防・スプリンクラー、水道、半導体、水素は成長、造船は低迷を予想しています
- 原子力は堅調予測ですが、再生エネルギーの動向次第で縮退するリスクがあり、不安要素ありと評価しています

マーケット		今後5年間の動向
継手	造船	✓ 将来的には水素運搬船に期待が持てるが、当面の間は、コロナの影響により輸送量が減少し、外部環境としては厳しい見通し
	消防スプリンクラー	✓ スプリンクラー設置義務の課される大型施設の新設が引き続き見込まれること、及び過去に設置したスプリンクラーの取替需要が見込まれることから、今後の市場動向は明るい見通し
	水道	✓ 水道管路の老朽化が進んでおり、今後の更新需要が期待される ✓ 成長ドライバーであるSDF工法に対する需要も今後増加見込み
	半導体	✓ 当社グループのターゲットとするメモリーの市場規模は今後右肩上がりに成長見込み ✓ NANDシェア上位5社による大規模設備投資が進行中。
	原子力	✓ 政府による原子力活用の提言により、当面の需要は堅調予測 ✓ 一方で再生エネルギーの成長状況により、将来的には稼働が抑えられ縮退するリスクもあり
	水素	✓ 水素燃料の市場規模が今後拡大していくことに伴い、今後の見通しは良好
	貯給水タンク	✓ 個人/法人の備蓄水に対する需要の高まりや、災害時の一時滞在施設の設置推進の動きにより、今後の需要は拡大の見通し

国内マーケットの動向サマリ(3/3)



- 消防設備工事、貯水タンク、ロボット、介護事業は成長、ガソリン車は現状維持を予想しています
- EV車は成長見込みの一方、低価格化や社会インフラ整備といった課題を有するため、不安要素ありと評価しています

マーケット		今後5年間の動向
	防災・工事	<ul style="list-style-type: none">✓ 半導体工場、データセンターの増設により、消防設備工事が増加✓ 都市の再開発による建物の高層化・大型化で、消防設備工事が増加
自動車 ロボ ット	ガソリン車	<ul style="list-style-type: none">✓ 自動車需要は世界的に高まりを見せる一方で、EV車の割合が増加していくことから、差し当たっては緩やかな増加/横ばい傾向が予想される
	EV車	<ul style="list-style-type: none">✓ 脱炭素に向けた動きもあり、今後大きく伸長する見通し✓ 一方で低価格化や社会インフラ整備などの課題もあり、普及が遅れるリスクもあり
	ロボット	<ul style="list-style-type: none">✓ 自動車を中心とした低価格化の要請に応える形で需要を大きく拡大していく見通し
	介護	<ul style="list-style-type: none">✓ 少子高齢化の進行に伴い、今後の需要は引き続き伸長していく見込み✓ 高齢者人口の増加と併せて、中国で廉価な福祉用具が流通しており、国内販売市場を開拓できる余地あり

2024年12月期



決算補足説明資料 - 完 -

株式会社テクノフレックス
証券コード:3449